

永く、秋山に参加していません。今年も仕事の都合で半分諦めておりましたが、なんとか三日間の休暇を得て、参加できました。天気予報では、21日から4～5日間は好天気とのことで、楽しみです。

さて当日、以前にもサンフラワーで別府に渡ったことがありますが、その時はエンジン音と振動がどうも煩わしく、ほとんど寝れなかった経験があったので、今回はとにかく、早く酔っ払って寝てしまおうしか無いと、飲みたくもない？発泡酒を普段以上に飲んで誰よりも早く寝てしまいました。お蔭でさっぱりとした朝を迎えることができました。周りの人にはご迷惑を掛けたとは思いますが、お許してください。

船内の朝食バイキングは私には想像以上に豪華で満足できました。下船のとき、昨夜ひさしく快談？した英国人夫妻も足早に観光に向かったようです。佐坂さんが通訳してくれて、皆さんと英国人夫妻と親善会を催したのですが、何を隠そう、わたくしが、私たちのテーブルに招き入れての親睦会でした。酔っ払うとなんでも出来るものですね。

いよいよ由布岳です。快晴の下、バスで30分ほどで到着。登山口からは東峰、西峰共に見渡すことが出来ます。立派だ。確かに火山の威容を誇っている。豊後富士の別名もうなずけます。右手に日向岳、正面左手前に飯盛ヶ城が見えます。美しい山々です。飯盛ヶ城手前までは緩やかな草原が続きそれから先は一気に急斜面のピラミダルの正面登山道となっています。早く登りたい気持ちを抑えて、ゆっくりと準備体操、そして集合写真。

私は1班の5番でした。先導は小川さん、1班CLの坪田さんと続きます。ここはきっと野焼きでもしているのでしょう、合野越（ごうやごし）までほとんど木のない草原です。合野越からは日向岳までは自然観察路が右方向に伸びています。私は左へ。ほどなく、飯森ヶ城への分岐。見晴らしの良い草原が頂上まで続いています。時間があればこの山にも登ってみたいものです。が、私たちには険しい由布岳が待っています。私たちは比較的短時間内に3分、5分と休憩を取り。「3分は短すぎるもっと長く休憩を取ってくれ」などと文句を言いながらも、思っていた以上に楽に東峰、西峰の分岐・マタエに辿りつけました。指導者の先導が良かったのでしょう。ここで昼食。此处は風の通り道になっているらしく強風が体温を下げます。見上げれば東峰までは急坂が続いています。人、人が急坂に取り付いています。まさに山の絵になります。良い写真が撮れそうです。

ここで岡本さんがお鉢巡りは辞めて待っていると言う。せっかくここまで来て、御鉢巡りを諦めるなんてもったいない。でも骨身に應えるのでしょう、ご苦労様です。

食後いよいよ御鉢巡りへ、私はこの為に来たのです。ワクワクしますね。もう永く岩登りはしていません。×バツェンを乗り越え、ロープを乗り越えて先頭に付いて行きます。後から考えれば、入っては行けない領域に踏み込んでいたのですね。下の道を来た園上さんに合流したときにやっと理解できました。岩登りは身体が覚えているというか、思った以上に軽く体が動き、一步一步確実に手足が身を高めへと導いてくれます。適度な緊張感が楽しいと感じられます。それにしても山友会の皆さんはすごいですね。誰一人脱落者もなく、着実に登って行きます。

でも結構御鉢巡りは永く、嫌になるほど上り下りが続きます。私の最近新調した靴は岩へのグリップはよく効いて安心なのですが、下り坂の小さな石ころには滑って滑って仕方ありません。何度転んだことか……。やっと東峰についたときはホント安堵しました。

何はともあれ、市民参加者が少ないので、御鉢巡りをする事になったとのことで、私自身、以前から行きたいと思っていたので、これ幸いと参加した次第です。恵まれた天候の下、本当に楽しい登山ができました。

坪田さんをはじめ、市民秋山のご担当各位、ご苦労様でした。不満があるとすれば、弁当が山に持って行くには大きすぎたぐらいです。今年は市民参加者は2名だけ、しかもその2名のうちの1名は顧問をお願いしている丸山さんとのことだったので、担当者が市民の皆さんに楽しんでもらおうと一生懸命に企画や計画をしたにもかかわらず、残念です。もっともっと宣伝すべきなのではないでしょうか？何か方向性が間違っているのでしょうか？もっと近場で費用の掛からない市民秋山を考えなければいけないのでしょうか？

市民秋山登山<由布岳>一口感想

林 一昭 (一般)

今回の山行は天気にも恵まれ素晴らしい山旅でした。前回参加させて頂いた時は東峰だけでしたが、今回はその時心残りだった西峰登頂とお鉢巡りも出来て最高でした。フェリーでの山登りもいいものですね。又九州の山に行ってみたいと思います。お世話いただいた方々に感謝いたします、ありがとうございました。

一口感想

丸山敏文

由布登山口からは、広々とした草原の中に豊後富士を望め、ゆったりとした気分スタートできた。草原を過ぎ紅葉した樹林帯が終わり、長いジグザグ道で高度を上げ、ススキの間から飯盛ヶ城、湯布院温泉の街並みが俯瞰でき、遠くに九重連山が望め展望を楽しみながらマタエに到着。ここからいちばん楽しみにしていたお鉢めぐりが始まり、岩場もあり三点確保で適度な緊張のなか西峰、東峰に登ることが出来ました。安全登山の為1年間、山、ルートを選択、下見、トレーニング登山、さまざまな準備いただき有難うございました。久しぶりに楽しい登山が出来ました。

市民秋山登山<由布岳>一口感想

中廣 正典

先ずは秋山担当の皆さんに心からお礼申し上げたいと思います。

ご苦勞様でした。そして有難う御座いました。

お蔭様で誠に楽しく記憶に残る、120%満足した山行になりました。

お鉢巡りは予想以上のものでしたが、その分だけ楽しめた素晴らしい山行でもありました。

第一の功績は秋晴れの清々しい好天を呼び込んだ、幹事初め参加者各位の晴男・晴女の皆さんでしょう。私達が担当した数年前の<九重山>は雨で散々でした。今回を誠に羨ましく思った次第ですが、同時に私もその仲間に入れて貰い嬉しい限りです。

下山後の温泉の気持ち良かった事、ビールの美味しかった事、夕食時の団欒、全てが<由布岳登山>に彩りを添えてくれました。

毎年こんな市民秋山だったら良いのですが・・・。

一口感想

染矢つや子

秋の「由布岳」に登って見たいと参加しました。

担当者の良き計らいでぐるっと1周出来る「お鉢巡り」が出来た事感謝しています。

秋晴れの下、岩稜のアップダウン、楽しく大満足でした。

恒例の打ち上げの宴会、酒量が増すとイザコザが起きる、楽しい気分が終わりがたかったですね。



平成27年度市民秋山登山一口感想文

園上 雅晴

山登りはお天気5割と言われてはいますが、今回はまことに天気が良く快晴の中での登山であった、晴れは一日中続き秋の一日を満足させて頂いた、登山口から見た由布岳はその全容が見られ、早くこちらに来いと云っているような構えでした、途中の登山道はよく整備されており歩き易かった、多分地元でも全国的にも有名であり登山客が多く訪れるであろう山なので整備も良いのであろうと察しました、お鉢巡りはちょっぴりしんどかったが行って良かったです、もし天気が悪くお鉢巡りに行けなかったらなんとしょうもない登山で終わっていただろうと思いました、(一般市民がいてもお鉢巡りは希望者を募り実行されるべきであったろう)とにかくお鉢巡りは面白かったです、

今回の担当は皆さんすごい、スケジュール、食事、山歩き等みんな過去に例のない位完璧であったと思います。あまりに完璧すぎて、参加者は乗っているだけになり、楽でしたが次に私がやれと言われたらできないとの思いを強くしました。

行き帰りが船は楽でしたが、齢なのか疲れが出、帰ったその日は何もできませんでした。下山後の温泉入浴も良かった、大きな風呂場でしたが、多くの外人が入っているのにもう一度びっくりしました。

平成27年度市民秋山登山<由布岳>参加者一口感想文

中田 繁男

今年の秋山登山は今までになく天候が気にならない山行でした。ひとえに担当の皆さんの熱意の賜物でしょう!!登山コースが当初の東峰のピストンから西峰からの火口(お鉢巡り)に変更出来た。私の予想を超えて起伏がありスリルが随所に見られ、クサリ場等の緊張感が楽しい。快晴で展望が最高、参加者皆さんからも同様な声がしきりでした。天候が不順であればコース変更がやむえないところでしょう。特に行き帰りがフェリー泊で初日の夕食後の倶楽部で歓談中に、近くのイギリス人夫妻を誘って盛り上がったのが楽しい時間でした。皆さん方々のキャリアの深さをしみじみ感じました。

由布岳一口感想

山下 隆

10月初めの青森登山では爆弾低気圧に見舞われるもそれなりに楽しめた。一転し、その後は好天が続き、市民秋山登山まで持ち応えてくれた。おかげで、船路も穏やかで、快眠できそうな寝床を探しまわる。アイマスクを持ってきたはずだが、見つからないのは失敗だ。お酒と薬の助けで睡眠は十分に確保できた。

登山口から眺める由布岳周辺の穏やかで美しい山並みに癒される。ルンルン気分で登るにつれての下界の広がり展望に満足しながら登る。後半はゴロゴロ石の急坂となる。メインイベントのお鉢めぐりはアルプスの岩場歩きの如くで、スリル十分。この近年、3000m近くの山ではいつも高山病になるので今年の夏山はギブアップしたので、夏山らしき雰囲気を楽しめた。得意のツリがニョキット出たが、軽くすんだのは幸이었다。

天気は朝から下山時まで雲一つない快晴で、市民秋山登山では何年ぶりかの幸運に恵まれ、世話役さん方の苦労も吹き飛ばすようで、天の神と世話役さん達に大感謝です。

一つ残念だったのは、一般参加者が極めて少なかったことだ。毎年、市民秋山登山の場所選別に担当者は苦労している。この機会は会員を増やす絶好のチャンスなのだが。以前、市民秋山登山を由布岳でやった時はNHKの朝ドラがこの山の山麓がロケ地だったので、その時は知名度が高く、市民の参加者が沢山いたのではないかと思う。知名度の高い地域を選ぶのが大事なように感じる。来年も元気で山歩きが出来ていて、仮に「熊野古道」になるようだったら、何度も行っているの、世話役としてお手伝いいたします。

秋山市民登山 一口感想文

伊藤多恵子

由布岳という名前がきれいで、一度は行ってみたいと憧れていた山です。まず登山口から見上げる山容の優美さにうっとり。しかも、一生の内何度も当たらないほどの好天に恵まれました。裾野の草原にはススキ、木漏れ日差し込む林には紅葉が光輝き、中腹からは九重連山と湯布院の街並みが一望できました。でも、穏やかなハイキング道はマタエまで。そこから先はこのコースのハイライト、岩場のあるお鉢廻りです。ドキドキしながら岩場に向かいましたが、ベテランの方たちの適切なアドバイスのおかげで何とかクリアできました。何にも知らない初心者を金毘羅Yケンで指導して下さいました皆さん初め、同行して下さいました皆さん、本当にありがとうございました。のおかげで一生に残るほど素晴らしい山旅を体験できました。

一口感想文

佐坂 茂美

晴天に恵まれた市民秋山は久しぶりでした。事前にヤマレコや You Tube 等で御鉢巡りを確認しての参加でしたが、リッジやトラバース気味の岩稜ルートは緊張感があるも大いに満足させてくれました。往復のフェリーも市民秋山参加者のみの部屋で気兼ねなく十分にくつろぐ事が出来体調万全での山行を提供して頂き大感謝です。

ほぼ1年に亘り準備して頂いた4名の担当者に「有難うございました。そしてお疲れ様でした」と云わせて頂きます。

一口感想

河野 典子

由布岳は2回目の参加です。今回はお鉢巡りもあり又違う山に来たようで、岩場があり「きびしいなあ」と思いましたが良い天気ですリードして下さいました皆さんに助けをいただきながら楽しく登ることが出来ました。船での1泊はゆっくり出来、次回も船に乗り行ける場所がいいなと思います。お世話して下さいました方、又ご一緒して下さいました方々ありがとうございました。

一口感想

若林 憲治

楽しいコース選定と天気に恵まれて久しぶりの秋山登山、各担当者も役割が発揮され機能的に活動され全員無事に登山できた事に対して改めて感謝。

一口感想

竹原 絹栄

常に班長の後を歩いて見守る側には危なっかしい足運びがあったりして気苦労をおかけしました。トレーニングでYケンを体験していたので西峰から東峰への岩登り降りには恐怖心なくスリルを楽しみました。そしてザックを背負わずにお鉢巡りが出来て身軽だったことが挫折しなかった要因だと思います。分岐のマタエで荷物と共に留守番をして頂いた岡本さんにも感謝いっぱいです。一日中最高のお天気に恵まれて楽しい山旅をさせていただき役員の方々にも大変お世話になりました。



平成27年度市民秋山登山（由布岳）一口感想文

樋口 修

ぜひ登りたいと思っていた由布岳。絶好の登山日和のもと、由布岳登山口にたつと、登山の意欲をさそうように、正面に由布岳の端正な山姿が広がっていた。

由布岳西峰と東峰との分岐点の「マタエ」迄は、比較的歩きやすい道で、リーダーの適切なスピード配分・休憩もあり、あまり疲れることなく登ることができた。マタエからは、今回のハイライトである、西峰から東峰へのお鉢巡りが始まった。お鉢めぐりは、期待にたがわず、「岩場の登り下り・鎖場」があり、緊張感をもって歩く変化にとんだコースで、山登りの醍醐味を十分味わえた。

加えて、道中や頂上では九重連山の眺望が広がっており、満足感に満ちたは登山ができた。

最後に、事前準備・当日の運営を担当された世話役の方々、危険個所での安全面でいろいろご配慮いただいた関係者の方々、ありがとうございました。

一口感想文

上田 美織

由布岳は数年前の秋山登山の時に心ひかれながら日程が合わず断念したので今回は是非行きたいと思い申込みました。

金比羅Yケンの練習の機会まで作っていただきそれ自体も楽しかったですが、本場ではそのおかげで何の不安も抱かずに十二分に楽しませていただきました。お天気は最高、由布岳も思っていた以上にわくわく感もあり楽しかったです！

役員の方々は往復の船のこと、お風呂のことまで色々ご配慮ありがとうございました。前回由布岳に行けなかったのを残念に思っていたのがお鉢巡りまで行けて最高でした。

一口感想

津田憲由

市民秋山にしては、久しぶりに天候・山・行程を満喫しました。

担当者の皆様のご苦勞と参加の会員そして一般参加の皆さんの気持ち、素晴らしい登山に結びついたことに大感謝です。有り難うございました。

今回は、事前に救助隊長の要請により救助活動シミュレーションを役員会で行い、留守本部の体制も決めてアクシデントに備えました。留守本部・主担当の鈴木さんが”この組織が立ち上がることのないことを祈りつつ”と気を送って下さいました。

留守本部の皆様有り難うございました。

一口感想

徳田幸子

由布岳は7年前にも市民秋山で参加しましたので2回目の登山になります。

前回は東峰だけで残念でしたが、今回はお鉢巡りが出来て大満足です。

そして天候に恵まれ、皆様方と無事山を降りられて良かったと感謝しています。役割担当の皆様ありがとうございました。



一口感想

北條 都

2年前の高千穂が台風で中止になったので、今回の由布岳が行けるかとても心配だったが、2日ともとてもいい天気恵まれ最高の山行になった。

今回、岩登りができるかと事前に何回かきかれていたが、本格的にはしたことがなく「金比羅」Yケンの訓練にも行けなかったので迷惑をかけないかと少々不安に感じていた。

しかし、そんな不安も何のその、岩にへばりついて登ったお鉢巡りは変化に富んでいるし、非常に面白かった。

登山ペースもゆっくりだったので、途中でバテることもなく、担当の方の心配りも十分あって楽しい山登りになった。

温泉にも入ることができ、船旅も快適だったし、九州まで連れて行ってもらってありがとうございました。

一口感想

岡本 綾子

一般市民の参加申し込みがゼロという前代未聞の状況に、秋山担当としての気持ちが一気に萎えてしまいました。今は、無事終えた事に感謝しております。

6月に下見に行った時、お鉢巡りのアップダウンのある岩場がやはり面白いと感じました。今年の市民春山登山も鎧岳・兜岳と公開山行としては少しハードな山でしたが、担当者の思いとは逆に、楽しいコースだったという感想が多かったと思います。公開山行という事で力量のわからない人をどう迎えるかが課題ですが、もちろん安全第一の上に、多少の冒険があってもいいのではと思います。山も人も少し危ないくらいが魅力的という事かもしれません？

一口感想

坪田 宏

秋山担当者4名で約1年に渡り準備を行ってきました。山行当日は良い天気恵まれ、懸案のお鉢巡りも全員がクリアでき無事下山出来ホッとしました。予定の観光は出来ずじまいでしたし、入浴も当初予定していた場所とは違いアタフタしましたが別府市内の施設で韓国人の観光客が多く驚きました。内部は以外に広い浴場で打たせ湯もあり好評でした。昼の弁当は予想していた物と違い容器が大きくリックに入れるのに苦労しました、担当者としては確認不足があり参加者の皆様にはご迷惑をお掛けし申し訳御座いませんでした。



平成27年度 市民秋山登山(由布岳)会計報告

収入の部				支出の部			
項目	数	単価	金額	項目	数	単価	金額
(トレーニング関係)				(トレーニング)			
労山保険(一般市民)	1	100	100	労山保険	2	100	200
				小 計①			200
				(下見関係)			
				下見費用	4	17,800	71,200
小 計①			100	下見交通費	4	1,720	6,880
(本番参加費関係)				小 計②			78,080
一般市民	2	21,600	43,200	(本番事務・安全費関係)			
会員(注)	23	20,600	473,800	ホスター作成費	80	30	2,400
				ホスター用袋	4	108	432
				説明会資料作成費	1	3,350	3,350
小 計②			517,000	行事主催者賠償保険	75	40	3,000
				労山保険(一般市民)	2	100	200
(体協助成金関係)				通信費	1		92
総体助成金	1	40,000	40,000	通信費	1		82
				乾電池大	1		1,505
小 計③			40,000	雑費(土産代)	1		1,620
雑収入(利息他)④	1	14	14	小 計③			12,681
				(本番費用関係)			
				バス代	1		108,000
				乗務員経費	1		1,870
				フェリー代	25	9,000	225,000
				朝食代	25	620	15,500
				昼食弁当代	25	870	21,750
収入合計(①+②+③+④)…(イ)			557,114	傷害保険	25	325	8,125
				手数料	25	500	12,500
				夕食	1		31,990
				小 計④			424,735
				(入浴・飲み物)			
				入浴代	25	650	16,250
				飲み物	25	1,000	25,000
				小 計⑤			41,250
				(その他)			
				小 計⑥			0
				支出合計(①+②+③+④+⑤+⑥)…(ロ)			556,946
				(不足金)			0
				収支合計-支出合計…(イ)-(ロ)			168

参加者数は
一般市民2名 会員23名 計25名。
一般会費20,600円。会員会費21,600円。

上記の通り報告します。

京都田辺山友会 秋山担当

平成27年11月4日

会 計
世話役代表

赤松 隆二
坪田 宏



会計監査報告

市民秋山登山(会計収支報告)を帳票に基づき監査した結果、収支共に適正に処理されたことを認めます。

平成27年11月4日

会計監査(一般市民代表)

丸山 敏文

会計監査(会員代表)

津田 憲由

